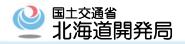


住民自らの行動に結びつく 水害・土砂災害ハザード・リスク 情報共有プロジェクト

最近の全国の取組状況

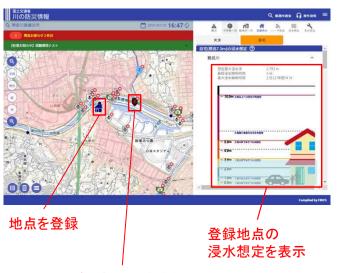


川の防災情報」ウェブサイトのリニューアル



○ 川の水位や洪水予警報、レーダ雨量、河川カメラ画像などをリアルタイムで提供している「川の防災情報」ウェブサイトを、令和3年3月23日(火)に全面リニューアルし、大雨時に必要となる川の情報をより分かりやすく、見つけやすく提供を開始

身近な地点の情報に 簡単にアクセス



近隣の観測所を登録

自宅や職場などの場所(最大3箇所)や確認が必要な観測所などを登録し、トップ画面や地図画面などをカスタマイズして、必要な情報を速やかに確認できるようになります。

地図を操作して 調べたい情報を検索



地図画面をフルGIS化し、河川水位、洪水 予報の発表状況、レーダ雨量、河川カメラ 画像などのリアルタイム情報や、洪水浸水 想定区域図などのリスク情報を1つの地図 画面で表示できるようになります。

全国の洪水の危険度を 一目で確認



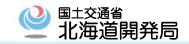
全国で発表されている洪水予報やダム放 流の状況など、危険が高まっている河川を 一目で把握できるようになります。

※「川の防災情報」URL: <u>https://www.river.go.jp</u>

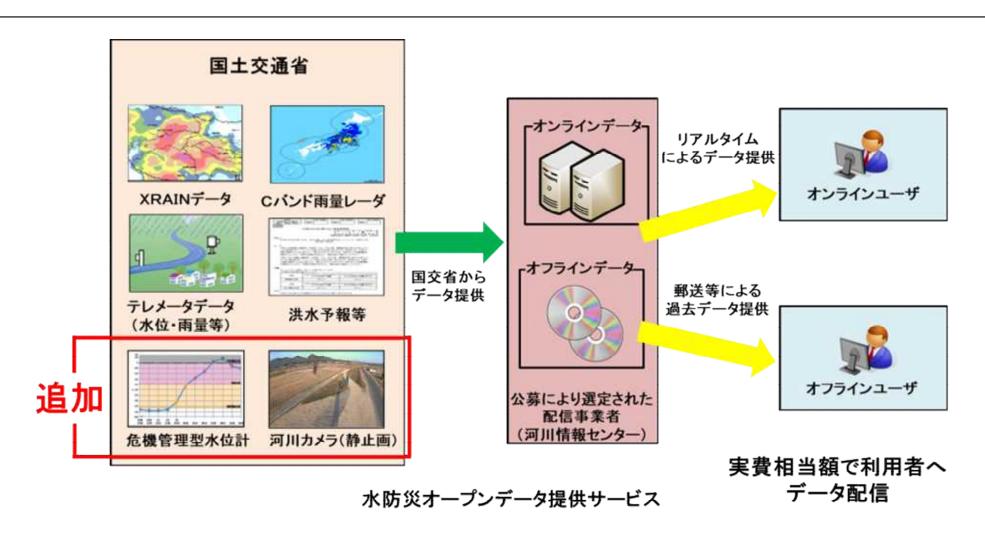




「水防災オープンデータ提供サービス」の追加

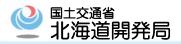


○ 国土交通省では、河川情報を民間企業のウェブサイトやアプリを通じた配信等に活用いただくため、「水防災オープンデータ提供サービス」において河川水位等のデータ配信事業を実施しています。 これまで提供してきた河川水位や雨量のデータに加え、新たに危機管理型水位計(7,000箇所)、河川カメラ画像(7,000箇所)の配信を開始





「逃げなきゃコール」の普及推進



〇「逃げなきゃコール」にNTTドコモが追加

「逃げなきゃコール」は、離れた場所に暮らす高齢者等の家族の防災情報を、家族がスマートフォンアプリ等によりプッシュ型で入手し、直接家族に電話をかけて避難を呼びかける取組です。

これまでNHK、ヤフー、KDDIの協力により取組を 実施してきましたが、この度、新たにNTTドコモが加 わり、令和3年度の出水期から4社で取組を進めるこ ととなりました。

国土交通省では、より多くの方に本取組を理解いただき、災害の危険が迫った際にはご家族などへ避難の呼びかけを行っていただけるよう、参画いただいている各社と連携し、さらなる周知を図ってまいります。

【アプリやサービスについて】 国土交通省「逃げなきゃコール」サイト https://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html?id=01





家族からの「逃げて!」ですぐ行動を。







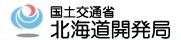








🗸 SNSを活用した情報提供



〇 「逃げなきゃコール」を公式アカウントで情報発信



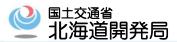








SNSを活用した情報提供



) 「川の防災情報」、「河川映像LIVE配信」を公式アカウントで情報発信

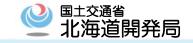








水管理・国土保全局と気象庁による合同記者会見の充実



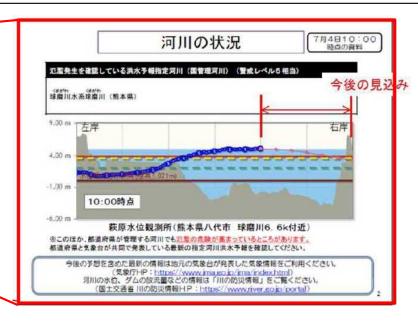
○大雨特別警報の警報等への切替にあわせて、今後の水位上昇の見込みなど河川氾濫に関する情報を発表し、引き続き警戒が必要であることや大河川ではこれから危険が高まることを注意喚起。

○台風接近時には、大雨による雨量の見通しが河川の能力を上回る規模であることを示し警戒を呼びかけ。

<令和2年7月豪雨時の合同記者会見>



<台風第10号接近時の合同記者会見>





気象庁予報部 予報課長

『台風第10号は、今後特別警報級の勢力まで発達する見込み。 記録的な大雨・暴風・高波・高潮となる恐れがあり最大級の警戒が必要。』

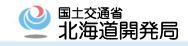
水管理·国土保全局 河川環境課長

『国管理の大きな河川を含め多くの河川で現状の整備水準を超える規模の雨量が予測されており、氾濫の危険性が高まっています。

暴風が来る前に早めに避難してください。』



水害・土砂災害に関する防災用語改善検討会



○ 水害・土砂災害に関する防災用語の改善についての報告書を令和3年5月21日に公表

検討の背景: 近年の災害の発生状況や新たな防災情報の導入、情報通信技術の進化や情報伝達手法の多様化などを踏まえ、 受け手がより直感的に状況を理解でき、災害時に安全を確保するための適切な行動がとれるよう、防災用語の改善を伝え方の工夫、住民・社会の意識・理解の向上が必要。

防災情報と防災用語の課題:

- 1. 水害・土砂災害リスクや防災情報の理解と周知
 - ・災害の危険度の理解と周知
 - •防災用語の理解と周知
 - •防災情報の多様化への対応
- 2. 防災情報の伝え方
 - ・新たな情報通信技術等の活用
 - 新技術や民間企業のサービス等の活用
 - ・記者会見等の実施方法や内容の充実
 - ・災害時における情報収集・提供の強化
 - ・防災情報と住民の行動の結びつき

<u>防災情報と防災用語の理解促進と活用に向けた取り組み:</u>

- ■新たな情報通信技術を効果的に活用した防災情報全体のインフォメーションデザインの向上
- ■防災情報や避難行動などについて関係者間で理解を深める ためのリスク・コミュニケーションの推進
- 1. 防災用語の改善
 - (1)平常時と緊急時での防災用語の伝え方の工夫
 - (2)防災用語ウェブサイトを通じた理解促進
 - (3)継続的な改善の取り組み
- 2. メディア特性を活かした情報発信
 - (1)情報媒体の特性を活かした効果的な情報発信
 - (2)新たなメディアや新技術等の効果的な活用
- 3. 避難行動に結びつく防災情報の発信
 - (1)防災情報と警戒レベルの活用促進
 - (2)強く警戒を呼びかけるための記者会見等の充実
 - (3) 防災情報と避難行動の結びつきの強化

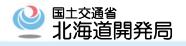
継続的な見直し:

- ■時代の変化や情報通信技術の進歩に応じて変化する用語の見直しや伝え方の改善
- ■住民との対話、関係者との対話などすべてのリスク・コミュニケーションの機会を通じた改善

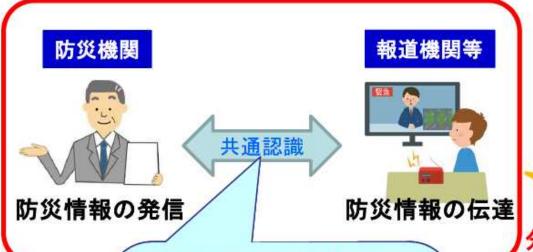




主な内容「防災用語ウェブサイト」の開設について



- 防災情報を住民などの受け手に分かりやすく伝え、適切な防災行動を促すためには、防災情報について、発信者(国、自治体)と伝え手(報道機関等)の間での共通認識が重要。
- 発信者と伝え手で防災情報への認識を共有するため、パソコンやスマートフォン等により、誰でもすぐに防災 情報に用いられる防災用語の意味や伝え方などを検索できる「防災用語ウェブサイト」を作成する。







防災情報を受けた、

適切な防災行動

「防災用語ウェブサイト」



防災機関(発信者)と報道機関 等(伝え手)の間で防災情報へ の認識を共有

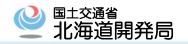
(災害時)

・防災情報の意味、伝え方を迅速に確認 (平常時)

- ・報道機関・・・平時の解説コーナーや緊急時の事前準備に活用
- ・ネットメディア・・・ 重要な情報が確実に伝わるようなコンテンツの作成
- ・自治体防災担当・自主防災組織・・・災害に備えた研修等に活用



防災用語ウェブサイトに掲載するコンテンツ



防災用語ウェブサイト

用語

国・自治体等が発表する、水害・土砂災害に関する情報や報道発表資料、記者会見、解説資料などで用いる用語を中心に掲載

〇概要

メディアで繰り返し説明に使える長さで表現

水害・土砂災害について普段接することのないような方でも、その用語の意味の概略がわかるような、専門用語をなるべく使用しない簡潔に説明。

〇 求められる行動

その用語が伝えられるような状況において、今後注意すべき事項や、想定される行動。

〇リアルタイム情報

その用語に関連するリアルタイム情報が閲覧できるウェブページへのリンク

〇 用語の説明

その用語の意味についての正確な説明。また、情報を伝える際に理解しておくべき事項。説明文中の関連する 用語については、その用語へリンク

〇 情報を伝える際の留意点

用語を伝える際に誤解を与えないよう留意すべき事項や分かりやすく伝えるための使用方法。

〇 詳しい解説・参考資料

その用語に関連する解説ページへのリンク

〇画像·動画

その用語の概要が 直感的にわかりや すい図、写真、動画、 地図などを掲載。

非常時に伝えるべき、求められる行動を記載

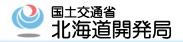
すぐに現在の状態が調べられるようリアルタイム情報のページにリンク

緊急の呼びかけ方、言い換えの表現、伝達の際の留意点など

※ ページのデザインや記載内容は、今後、変更となる可能性があります。



防災用語ウェブサイトに掲載するコンテンツ



防災用語ウェブサイト

氾濫危険情報

はんらんきけんじょうほう

〇概要

川から、いつ水があふれ出してもおかしくない危険な状況であることを伝える情報。

〇 求められる行動

警戒レベル4相当情報[洪水]。 市町村からの<u>避難情報</u>を確認。<u>洪水浸水想定区域</u>内にいる人は、 河川の水位を確認して自ら避難を判断。

〇リアルタイム情報

「川の防災情報」(洪水予報等の発表状況)

警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報	型式 ロイリル 相当情報	洪水に関する 情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	罪為安全確保*!	5 相当	氾濫発生情報
_	<勝城	レベル4までに必ず鉛難!>	~~~		
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	遊覧指示	4 相当	氾濫症膜情報
	災害の おそれあり	意味な場所から 高額者等は影響。	英數表單細數	:35 (m=):	TO BE THE METERS OF
	107556	自ら起難行動を確認	大四十四条十五四四条和 (文章字)	2 相当	mail notes
2					

- ※1 建設財が営書の建設を確認と英規できるものではない第の顧由から、警察レベルを住みず発金されるものではな
- ※2 管理レベル3は、共動者等以外の人も必要に応じ、首項の行動を見合わせ出めたり意致を延じたら資金的に避難するタイミングである。 (2) 対象を受け、対象の対象がなったというができます。

〇 用語の説明

<u>洪水予報</u>または<u>水位到達情報</u>において、発表される情報の一つであり、<u>水位観測所</u>での観測水位が<u>氾濫危険水位</u>(レベル4水位)を超過した場合に発表される。

〇 情報を伝える際の留意点

危険度を明確にするため、「避難指示の発令の目安」、「警戒レベル4相当」などを付して伝える。

〇 詳しい解説・参考資料

洪水予報・水位到達情報について

(令和3年〇月〇日作成/更新)

※ ベージのデザインや記載内容は、今後、変更となる可能性があります。